

季刊せいてん no.122

●浄土真宗聖典の学習誌●

特集

セルフ

わが家で解決

の
す
す
め

質問箱



真宗〈悪人〉伝／顕如と教如(下) 幸せてなんだろう／夜空ノムコウ
『唯信鈔文意』／他力信心の法義 「正信偈」／善導大師④ もう1人の「親鸞」／幽霊

NO.122

季刊

せいてん

2018.3.1 (春の号)

特集

わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ

- 「セルフしないともったいない2つの理由」
「セルフの基本5つのポイント」…………… 編集室 3
- 「昔も今もまずは辞典」「やっぱりネットは便利」「救いの根拠を確かめる」
「仏事の基本は本願寺の本で」「歴史は長く資料は堅く」…………… 編集室 44

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝⑪

- 顕如と教如(下)…………… 井上見淳 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学⑤

- 夜空ノムコウ—人間はどうやって善を知るのか? …… 藤丸智雄 16

聖典セミナー **新**

- 『唯信鈔文意』① 一他力信心の法義…………… 安藤光慈 22

せいてん誌上講演

- 「正信偈」② 善導大師(4) 阿弥陀仏に遇う…………… 梯 實圓 30

もう1人の「親鸞」⑤

- 「幽霊の救い」…………… 黒田義道 40

おてらカメラ ③

- 「屋根を撮る」…………… 中西康雄 54

法語随想 **新**

- 「これすなはちわれらが往生の定まりたる証拠なり」…………… 蓮谷啓介 56

読者のページ せいてん質問箱③

- 「恩徳讃」は、いつ頃から特別に用いられているの? …… 大原実代子 58

人ひとみな 物語からであう① **新**

- 「出家学道」…………… 奥田章吾(ともしえ) 63

お寺はいま 福岡県福岡市・早良組「つりっ子同行」

- お聖教が布教使を育む…………… 64

西の空 心に響くことば

- 底のひかり…………… 榎本栄一 67

文中写真 / 編集室

お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

特集

わが家で解決

セルフ

質問箱

のすすめ



浄土真宗に関して何かわからないことがあったら、皆さんはどうしますか。詳しい人に聞く？確かにそれも一つの方法でしょう。しかしその前に、「自分で調べてみる」という方法がありますね。これを今回は、本誌のコーナー「せいてん質問箱」にちなみ「セルフ質問箱」と名付けて全力でおすすめしていきます。決して、難しいことを頑張っってやりましようというわけではありません。初めて学ぶ人にも研究者にも共通の、簡単で重要な調べ技です。保存版！

特集目次

セルフしないともつたない	2つの理由	P3
セルフの基本	5つのポイント	P4
さらにセルフ！新登場	『季刊せいてん』総目次	P6
昔も今もまずは辞典		P44
やっぱりネットは便利		P46
救いの根拠を確かめる		P48
仏事の基本は本願寺の本で		P50
歴史は長く資料は堅く		P52

セルフしないと2つの理由 もつたない

速

答えは家にある

本誌編集室が設置されている浄土真宗本願寺派総合研究所。研究所での仏教や浄土真宗の調べものというところから、見るからに貴重そうな古文書を紐解いてみたり、分厚い文献を片端からめくってみたりというような、一般人には到底できないことをしているイメージをお持ちかもしれません。

しかし実際のところ総合研究所では、そのような場面もありますが、皆さんの家の本棚にもすでにあるかもしれない「普通の」本や資料を使って調べる場面のほうが、むしろ多いのです。たとえば本願寺出版社からだけでも、たくさんの本が発刊され、たくさんのお有用な情報が蓄積されています。そういった本を活用するだけで、かなりの疑問が解決してしまうのです。調べるのに使う本が同じなら、他の誰かに調べてもらおうよりセルフの方がどれだけスピーディーか、比べるまでもありませんね。

いまさら普通の本を見てもなあ、と思うなかれ。自戒を込めて申せば、灯台もと暗しということが大変よくあります。さらに、特定の分野の専門書と思われるような本が、実は幅広い場面で有効活用できる本だということもあるのです。そうした普通の本の特徴を知って上手に使いこなす。これがセルフ質問箱の柱です。

知

プロセスこそ醍醐味

といってもチーズの話ではありません。プロセス、つまり過程のことです。

あなたが誰かに質問をしたとしましょう。その人は質問に答えるために、資料や書籍を色々調べていきますと、「お、こんなところに！」その人は、前々から気になっていたことについての重要な情報を見つけてしまいました。でも今回の質問には関係がありません。とりあえず付箋でも貼って、後からゆっくり読むことにします。

さて、答えに関する情報が十分に集まってきました。やたら長々と説明されても困るだろうということ、情報を整理します。「これは相当おもしろい話だけど、ちょっと脇道だから伝えないほうが分かりやすいかな」こんな過程を経てあなたのところには、

「こないだの質問の答え、〇〇でした」というたいへんシンプルな回答が届けられるのです。調べる過程で出てきたたくさんの興味深い情報はその人が独り占めです。もし、答えがわからなかった場合でも、あなたへの答えはゼロですが、調べたその人のところには、何らかの糧となる情報や経験が残されます。ずるくないですか？でも、それらを余さずいただくことができます。セルフなら。

セルフの基本 5つのポイント

お天気が気になるときに見るのは
天気予報。そのぐらい当たり前前に、
疑問の種類によって見るべきものが
わかっていれば、もうセルフ質問箱
をマスターしたも同然です。

もちろん調べる範囲を広げてゆけ
ばきりがありませんが、浄土真宗
もつと絞って本願寺派での基本とい
うところを確認するならば、見るべ
き資料はおおよそ決まってきました。

ここではそんな定番の資料を整理
する5つのポイントを紹介します。
それを踏まえて44頁以降で、ポイン
トごとにセルフ質問箱を実践してみ
ましょう。

①昔も今も

まずは辞典 ↓44頁

わからないことは辞典で調べましょう。
そんなの当たり前では？いえ、むしろ当
たり前すぎて、あるいは、ネット検索の
便利さに慣れすぎて、私たちはいつのま
にか辞典を引くという習慣を忘れてしま
っているのではないのでしょうか。

特に浄土真宗という分野では、まだま
だ紙の辞典が主力です。電子化されてい
るような有名な国語辞典などは専門用語
の語彙が足りませんし、ネットの検索は、
精度の点で信頼性が足りません。

情報の質・量にすぐれ、使うのも簡単。
辞典こそセルフの王様といえましょう。



②やっばり

ネットは便利 ↓46頁

↑とは申しましたが、ネット自体は決
して否定されるものではありません。辞
典なら辞典、ネットならネット、それぞ
れの特徴を活かして使いこなしてこそセ
ルフ質問箱です。

ネットで必須なのは、やはり信頼性の
あるサイトの聖典・經典検索システムで
しょう。膨大な文字の中から瞬時に検索
できる便利さはもちろんのこと、責任を
もって作成されたデータが用いられてい
るところが特に重要です。

苦手という方もおられるとは思いますが、ネット、使ってみませんか。



季刊せいいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

119号(夏の号)2017年6月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑨(井上見淳)
「唯善(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう②(藤丸智雄)
「わかっちゃいるけど、やめられない」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑩(矢田了章)
「第九条一念仏申し候へども…」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑬(樺實圓)
- 善導大師(1)浄土教を救った高僧
●もう1人の「親鸞」②
「比叡山時代の夢告伝説」(黒田義道)



表紙●特集「地獄と仏」より



表紙●特集「お仏華を知ろう」より

111号(夏の号)2015年6月1日

- はじめの一步I
戦国時代の本願寺(終)(金龍静)
「顕如上人と本願寺」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教⑥(野呂靖)
「妖怪と仏教」
- 聖典セミナー
「歎異抄」②(矢田了章)
「第一条」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑩(樺實圓)
- 龍樹菩薩(1)大乘の巨人
●和讃で学ぶ浄土真宗②
「阿弥陀仏」(佐々木隆晃)

120号(秋の号)2017年9月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑨(井上見淳)
「顕如と教如(上)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう③(藤丸智雄)
「自分らしさ」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑪(矢田了章)
「第十条一無義をもつて義とす」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑭(樺實圓)
- 善導大師(2)無量寿仏の名をたもて
●もう1人の「親鸞」③
「伝道者としての親鸞聖人」(黒田義道)



表紙●特集「あわてないための(大乘非仏説)入門」より



表紙●特集「しなやかにつなげる仏事」より

115号(夏の号)2016年6月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝④(井上見淳)
「熊谷直実」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教⑩(野呂靖)
「植物と成仏 その二」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑥(矢田了章)
「第五条」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑭(樺實圓)
- 曇鸞大師(1)大乘仏教の極致
●和讃で学ぶ浄土真宗⑥
「信心」(佐々木隆晃)

●これまでの主な特集記事●

- No.100……100号記念 勸学和上に関する
①聖教の真実性と布教伝道について 樺實圓
②聖典編纂事業と「季刊せいいてん」
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No.101……ヴィジュアル大乘仏教～北伝仏教の旅～
- No.102……飛雲閣と聚楽第一聚落第の遺構が否か
- No.111……お仏華を知ろう
- No.116……伝統とその由来
- No.117……私の名著

*「季刊せいいてん」誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは
本願寺出版社

☎0120-464-583
FAX075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
1冊700円(税・送料込)
商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくは
コンビニエンスストアで料金を払い込みください。

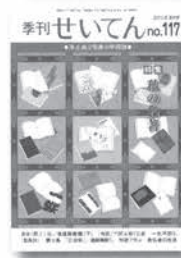
◆「季刊せいいてん」バックナンバーのご案内(在庫分)



表紙●特集「伝統とその由来」より

116号(秋の号)2016年9月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑤(井上見淳)
「慈信房善鸞(上)」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教⑪(野呂靖)
「一生不犯 その一」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑦(矢田了章)
「第六条一弟子一人ももたず」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑮(樺實圓)
- 曇鸞大師(2)他力のこころ
●和讃で学ぶ浄土真宗⑦
「念仏者の利益」(佐々木隆晃)



表紙●特集「私の名著」より

117号(冬の号)2016年12月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)
「慈信房善鸞(下)」
- はじめの一步II
「物語」で読み解く仏教(終)(野呂靖)
「一生不犯 その二」
- 聖典セミナー
「歎異抄」⑧(矢田了章)
「第七条一念仏者は無礙の一道」
- せいいてん誌上講演
「正信偈」⑯(樺實圓)
- 道綽禪師(1)末法を生きる
●和讃で学ぶ浄土真宗(終)
「念仏者の生活」(佐々木隆晃)

季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、
部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

・お申し込み・お問い合わせは↓

本願寺出版社  **0120-464-583** FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編 集 後 記

◆「布教の基礎は聖典の学び」。「お寺はいま」で紹介した深川倫雄和上や紫藤常昭先生のお言葉の数々から、布教を志すお坊さんの力になるという本誌の大切な役割を改めて教えていただいたように思います。

今号から始まった聖典セミナー『唯信鈔文意』も皆さんの学びを後押ししてくれるはずです。『文意』は入手しやすい解説書が少ない聖教ですので、解説書を心待ちにされていた方は多いと思います。どうぞじっくりお読みください。(D)

◆今回『季刊せいてん』総目次(6頁参照)を作成中、前号で本誌が30周年を迎えていたことに気付きました。創刊号によれば、本誌は『註釈版』と同時刊行の予定でしたが、一刻も早く読みたいというご要望に応え

予定を前倒して刊行したとのこと。当時の熱気に、改めて身が引き締まる思いがします。

◆「人ひとみな」は今回から、影絵を用いた布教を行っている「ともしえ」メンバーの方が一号ごとに交代で執筆してくださいます。お楽しみに！(N)

◆編集者、短歌のテレビ番組で、「短歌は作者の心象風景をヴィジュアルに伝える力がある」と聞きました。「お寺はいま」で取材した紫藤先生は、お説教の中で、「せつなさ」や「弱さ」といった感情が表現された一般の方々の短歌をしばしば紹介されています。短歌を紹介すると、その瞬間、場の空気が一気に和むそうです。聞く人がイメージしやすい表現方法としての短歌、そこにも紫藤先生の法話の秘訣があるようです。(Y)

投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。
◆あて先は、「〒600-8349 京都市下京区堺町92番地 浄土真宗本願寺派伝道第3本部 総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.122 平成30(2018)年3月1日発行

編 集
浄土真宗本願寺派
総合研究所
〒600-8349
京都市下京区堺町92番地
発 行
本願寺出版社
(浄土真宗本願寺派)
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
本願寺門前町60番地
電話 075-371-4171